

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535 (HPはこちら)
Mail : fukuciku@gmail.com

2022
11月号

福岡地区労連



前福岡市議会議員 福岡市出身
田中しんすけ

〈福岡市長選挙〉
福岡市では11月6日告示、11月20日投票で福岡市長選挙が行われます。福岡地区労連は、

「市民の会」の加盟団体として市民団体でつくる「福岡市から政治をかえる会（かえる会）」に合流し、市長選を闘うことになりました。「かえる会」は、大企業優先・大開発推進の高島市政をかえるため、「市民と野党の共闘」を目指し、予定候補には市民連合ふくおか事務局長の片山すみこ氏が内定しました。

その後、田中しんすけ氏（立憲）が立候補を表明し、「かえる会」とも協力していきたいと記者発表。「かえる会」は、片山すみこ氏は立候補を取り下げ、田中しんすけ氏と政策協定を締結したことで全面的に支援することを約束しました。立憲、社民、連合福岡が田中氏の推薦を決定し「かえる会」に参加している共産、れいわ、

野党共闘が実現

田中しんすけ氏は、マニフェストで市民への生活支援にたいして、所得の低い層から中間層にかけて家計にできる限り多くの可処分所得をのこすため、「公共サービスの値下げ」「未就学の子供医療費の完全無償化」「学校給食の無償化」「義務教育の完全無償化」



福建労と田中しんすけ氏(中央)が政策協定を締結

緑の党、市民ネット、ふくおか政治ネットの5政党と市民連合ふくおか、福岡県労連・地区労連が支援を決めたことで事実上の「市民と野党の共闘」が実現

田中しんすけ氏は、マニフェストで市民への生活支援にたいして、所得の低い層から中間層にかけて家計にできる限り多くの可処分所得をのこすため、「公共サービスの値下げ」「未就学の子供医療費の完全無償化」「学校給食の無償化」「義務教育の完全無償化」

田中しんすけ氏を福岡市長へ

福岡地区労連は、可処分所得の引き上げや公契約条例の制定など労働者にとって重要な要求を実現するため、田中しんすけ氏を福岡市長へ押し上げることに全力で奮闘します。

福岡地区労連は、可処分所得の引き上げや公契約条例の制定など労働者にとって重要な要求を実現するため、田中しんすけ氏を福岡市長へ押し上げることに全力で奮闘します。

〈福岡地区労連第33回定期大会開催〉 憲法を守る、公共を取り戻す、市長選挙勝利、組織拡大実現



米地議長の団結がんばろうで団結深まる。

定期大会議長に福建労東支部の岩永副支部長と建交労の秀島副支部長を選出しました。大会主催者の米地議長からは、今年2月にはじまったウクライナ侵攻問題、感染3年目に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大問題、野党共闘が実現した福岡市長選挙に対する福岡地区労連の積極的取組、最低賃金引上げ、地球環境問題、組織拡大について挨拶されました。内田事務局長からは経過報告や運動提案、財政決算、財政方針、福岡市長選挙方針案などの議案

が提案されました。大会では10名の代議員から発言がありました。冒頭福建労の代議員から、福岡市長選挙で田中候補での野党共闘が実現したことの結果と意義が力強く報告されました。福岡市は全

国で5番目だが課税所得は129位であることを一例に、それは高島市政の大企業資産家向けの開発一辺倒によるものであり、市民生活をよくするという一致点で市民と野党の共闘が実現した経緯を説明されました。

医療団労組の代議員からは、コロナ感染症患者の受け入れで空きベッドの確保が困難になっていることや、命を削って感染対策に日夜奮闘しているエッセンシャルワーカーには拍手だけでなく労働条件改善が緊急性が報告されました。

代議員からは、公契約条例や全労連が提起している公共を取り戻す発言や、奨学金ローン返済に困っている青年たちの問題などが報告されました。

福岡地区労連は、第33回定期大会を10月16日(日)午後からコロナ感染拡大防止の観点で、福岡県労連大会議室をホスト会場として完全オンラインで開催しました。大会には委任状を含めて47名の代議員が参加し一年間の運動の総括と運動方針を満場一致で採択しました。

福岡統一市長候補実現で要求実現を

3つの一年間の重要方針決定

役員選挙は立候補者全員が信任されました。(議長:米地輝高、副議長:水島不二夫、恵藤英昭、事務局長:内田大亮)

福岡地区労連は今後

一年間の運動方針として3つの重点課題を決定しました。一つは憲法擁護をはじめとしたコロナ感染対策や公共を守る「いのちを守る闘い」、二つは労働者の賃金を引き上げと労働時間を短縮させる「賃上げと労働時間短縮の実現」、三つはケア労働者の労働条件や子育て年金などの「社会保障」のたかひです。

〈街角なんでも相談会開催〉 支えあいの輪をひろげ格差と貧困に立ち向かう！



食糧支援を求めて殺到する参加者

2020年の年末に警固公園で第1回目を開催して計4回目となる「街角なんでも相談会」を10月9日に吉塚緑地公園にて開催しま

で、バスで職場に向かう外国人労働者にチラシを配って相談会の案内を行いました。当日は外国人支援ボランティアの方が4名参加し

いること、税金の負担が重いなど苦しい生活の実態の相談がありました。なかなか入りづらかったのか終了間際に来場されたある女性の方は、食料を受け取って帰る際に涙ぐまれていました。強固な自己責任の意識により助けてと言えず苦しんでいる方もいるのではな

した。吉塚駅近辺は、外国人労働者が多く住んでおり、今回は協力団体として外国人支援ボランティアの方々に加わっていただき、事前活動として吉塚駅前

の方から相談があり、食料配布は外国人の方も含め約50名の方にお米やフードバンクからの食糧などをお渡ししました。また新たな取り組みとして吉塚商店街と提携して、商店街の飲食店で使用可能なフードチケットを発行して、来場者に配りました。相談では保護課の対応が厳しくなっ

〈9.30怒りの県民集会〉 消費税を廃止し 賃金の引き上げを！

9月30日に消費税廃止福岡県各界連主催の「コロナ禍のいまこそ消費税5%減税・インボイス制度の実施中止を9・30怒りの県民集会」が開催されました。



音羽公園で消費税廃止を訴える

開会あいさつで物価高騰が家計や事業に大きな影響をおよぼしている中、世界の国々では付加価値税の減税を行っている、いまでは97の国と地域に広がっているのに日本では逆行した政策をとられているとの話があり、今こそ消費税の5%減税を必要があると訴えがありました。続いて田村貴明衆議院議員から

は日本の2倍になっている。日本が貧困化していることがよくわかる。日本を貧困化させた理由は消費税だ。賃金の元になるのは企業の売り上げで、さらにその源は国民の消費です。消費税によって消費が冷え込めば売り上げはあがらない。そのため賃金もあがらない。消費税をなくし当たり前の賃金が払われる社会にしましょう」と訴えました。

国会情勢報告があり、その後各団体からの発言がありました。福岡県労働からは福山事務局長が発言をされ「日本の最低賃金は韓国よりも下回り、アメリカのビックマックの値段

は日本の2倍になっている。日本が貧困化していることがよくわかる。日本を貧困化させた理由は消費税だ。賃金の元になるのは企業の売り上げで、さらにその源は国民の消費です。消費税によって消費が冷え込めば売り上げはあがらない。そのため賃金もあがらない。消費税をなくし当たり前の賃金が払われる社会にしましょう」と訴えました。

は日本の2倍になっている。日本が貧困化していることがよくわかる。日本を貧困化させた理由は消費税だ。賃金の元になるのは企業の売り上げで、さらにその源は国民の消費です。消費税によって消費が冷え込めば売り上げはあがらない。そのため賃金もあがらない。消費税をなくし当たり前の賃金が払われる社会にしましょう」と訴えました。

〈労働組合と地球環境問題を考える①〉 世界から見える食料に与える影響と問題

今号は、地球温暖化が人類の食料に与える影響と問題について世界からみてみます。今年の夏に世界各地で干ばつが発生しました。食料生産は自然条件に大きく左右されます。欧州連合(EU)は8月の声明でEU域内の64%が何らかの干ばつ状態にあるとし、「少なくとも過去500年で最悪の状態」と公表、中国やアメリカでも干



干ばつで枯れるトウモロコシ

ばつが発生しました。一方パキスタンや南アフリカなどでは逆に大規模な洪水が発生しています。いずれも地球温暖化が原因で今後も続く可能性があります。このように、地球温暖化に起因する降水量の変化や海水温の上昇などは自然条件に大きな影響を

〈演劇『二万石の恋』〉 長屋から始まる民主主義

『二万石の恋』は福岡地区労連が協力団体に入っている演劇です。今回、脚本・監修をされる山田洋二監督からメッセージをいただきました。

一生懸命準備した大切な芝居を、ステージに乗せられなくなるといふ、異様な事態が演劇人を苦しめています。そんな状況下でありながら、この秋、前進座の皆さんと再び、新しい物語を生み出すこととなりました。古典落語「妾馬」が題材だが、この『二万石の恋』



役者を指導する山田洋次監督

では落語とは真逆の結末が待っていて、愛する人のためには命を投げ出す覚悟の乙女の宣言に、愚かな殿様やアホな家臣たち、そして長屋の住人たちが、ドタバタ騒ぎを演じます。このドタバタ騒ぎは、長屋の民主主義にほかなりません。

長屋の井戸端で交わされる可笑しい会話や、恋人同士のラブシーンに、胸をワクワクさせてほしいです。そして、マスクの下から思わず漏れる笑い声で会場が満たされることを期待して、前進座の皆さんと一緒に汗をかこうと思えます。

与え、穀倉地帯での干ばつなどの自然災害の多発は食糧供給を直撃する。食糧生産が不安定になり、世界の食糧供給はますます不確実になっています。

今後のスケジュール

- 田中しんすけ氏 出陣式 11月6日(日) 10:00
- 天神ツインビル前 福岡市長選挙 11月20日(日)

当日行けない方は、期日前投票をお願いします。

機関紙「福岡地区労連」は12月号より15日発行になります。